

要望事項	要望内容	回答
<p>利便性向上</p>		
<p>1 駅施設等の整備</p>		
<p>(1) 高齢者、障害者等利用者の安全確保と利便性向上を図るための駅施設等の整備等</p>	<p>高齢者や障害者等に対する駅施設等の整備については、「移動等円滑化の促進に関する基本方針」等により、主要駅への点字ブロック、階段手摺、触知案内板、転落防止柵の設置等、順次実施いただいておりますが、高齢者や障害者等の移動制約者が安心して鉄道を利用できるよう、同基本方針の整備対象外駅も含め、引き続き、駅施設等の整備改善に取り組まれるよう要望いたします。</p> <p>また、高齢者や障害者等が利用しやすいように、ラッシュ時における改札・精算窓口の駅職員の増員やエレベーター等利用時の駅職員による配慮のほか、利用者への心のバリアフリーの啓発、車内における情報提供の充実、駅構内における音響音声案内装置や点字版等の設置などの取組みを、更に進めていただくよう要望いたします。</p> <p>なお、AEDにつきましては、すべての車両編成に装備いただいておりますが、引き続き、箱根湯本駅、強羅駅及び早雲山駅以外の駅への設置も進められるよう、要望いたします。</p>	<p>平成27年度はバリアフリー施策として「移動等円滑化の促進に関する基本方針」に基づき、大平台駅、上強羅駅の階段に手摺を設置いたしました。</p> <p>また、箱根湯本4番ホームおよび彫刻の森駅1番ホームには、お客様の線路への転落防止策として楡ゴムを設置したことで、プラットホームと車両との隙間を軽減し、転落発生件数が大幅に減少いたしました。</p> <p>点字ブロックについては、劣化や不陸が散見された宮ノ下駅2番ホームの点字タイルの部分交換工事を実施しました。また、夏季および年末・年始の多客時の前に総点検を実施し、不良箇所の補修に努めました。早雲山駅では雨天時に誘導タイル上での転倒が多発したことから滑り止めを施し、それ以降転倒事象は発生しておりません。</p> <p>平成26年11月1日に運行を開始した新型車両には、車内に液晶表示を設置し、停車駅や乗換案内のほか、他社線での運行状況等を必要により表示しております。今後も新造車両を導入し更に旧型車との代替を推進してまいります。</p> <p>駅構内における案内に関しては、箱根湯本駅プラットホーム上にある行先案内表示盤の情報を列車遅延等に追従できるシステムに改修し、より正確な情報提供が可能となりました。</p> <p>ソフト面では、サービス介助士取得や普通救命受講を促進し、心のバリアフリーを啓発いたします。AEDについては、運行する全ての車両編成に搭載されており、箱根湯本駅、強羅駅、早雲山駅への配置とあわせ、鉄道線、鋼索線全線を網羅されていると考えます。</p> <p>なお、国のインフラ長寿命化計画により鉄道事業者に対しても厳正な維持管理が指導される中、箱根登山鉄道では全ての鉄道施設の老朽化が進み、維持・修繕に関する費用が増加しております。施設改修に関しては地域公共交通確保維持改善事業等を活用し延命措置をしております。各種補助金制度が充実している情勢を受け、協調補助につきましてはの予算措置等の前向きなご協力をお願いいたします。</p>